

# シンナガサキミーティング開催レポート

## in 古賀小学校区



令和5年11月22日（水）、自治会やまちづくり協議会、育友会、消防団、地元事業者など21人の皆さんにお集まりいただき、古賀小学校区の「シンナガサキミーティング」を開催しました。

最初の自己紹介では、夏祭りやこがルミネなど地域の特色ある活動や、自治会でのささえあい活動、地域で暮らしていく中で感じていることなどをお話いただきました。



## いただいたご意見

### ①新幹線工事に伴う湧水・騒音対策について

新幹線工事で、騒音や湧水が発生したり、道路舗装が壊れたりするなどの問題が生じている。防音壁を設置して、その費用を補助するようになっているが、市も中に入って対応してほしい。

#### 市の考え方・回答

新幹線のトンネル工事に起因して、平成26年頃から東長崎地区で河川の流量が減るなどの減湧水被害が発生しています。機能補償として減湧水対策施設を建設することとなり、令和6年度中には全ての施設の建設が終わる予定です。その後、施設の大部分が長崎市に移管され管理を行う予定としています。

また、騒音については、環境基準超過の可能性がある新幹線に近い建物について、1巡目の測定を令和5年4月～6月にかけて、東長崎地区の14軒の測定を実施し、これらの結果は9月から対象者の方々へ通知しています。また、1巡目測定で環境基準を超過した建物の周りで、調査範囲を広げた2巡目測定9軒を実施しています。

環境基準を超えた場合は、防音装置の取り付けといった「追加音源対策」、または、家屋の防音工事の費用を助成する「障害防止対策」があり、現在、東長崎地区の環境基準を超えた方々に対する「障害防止対策」の協議を市も同席しながら実施しています。

## ②本を読む環境づくりについて

近くに本屋がなく、本を読む機会が少なくなっている。図書館を利用したい場合、市立図書館か市外の図書館に行かないといけない状況なので、図書館を増やすなどして、本を読む機会を増やしてもらいたい。

### 市の考え方・回答

長崎市では、市立図書館を中心に香焼図書館及び各公民館等図書室57室をつなぐ「図書館情報システム」により、市内全域で図書の貸出・返却・予約等のサービスが受けられる仕組みとなっています。東総合事務所管内では、東公民館、戸石地区公民館、日見地区ふれあいセンター、橘地区ふれあいセンターの図書室でサービスを受けることができますので、ぜひご利用ください。

なお、古賀地区市民センターは、「図書館情報システム」に含まれていないため、図書館の本の受取や返却はできませんが、地元の指定管理者がセンターの2階の一室を地域の多種多様なフリースペース「紫陽花倶楽部」として活用しており、その中で独自の図書室を設置し、本の貸出も行っていただくなど本と親しむ機会をつくっていただいています。



そのほか、「高齢者から若い人たちまでみんなで、地域を見守っていくというのが大切」、「学校と地域の協働について考える必要がある」、「東長崎は長崎の入り口。まだまだ発展する可能性があるので、まちづくりの計画をしっかりと考えてほしい」などのご意見をいただきました。

いただいたご意見は、担当部局と共有し、今後の市政運営に活かしていきます。

## 鈴木市長のひと言

いろいろなお話が聞けて大変参考になりました。いただいたお話をしっかりと市役所の中でも共有させていただき、課題解決に取り組んでいきたいと思えます。

お祭り、イベントなど色々な形で、また何うこともあると思えますので、私を見かけたら何でも気軽にお声かけいただければと思います。



## 参加者からの感想

古賀地区に住んで11年になるが、知らないことがたくさんあって、色々なことが分かってよかったです。

地域のコミュニティの強化が地域の課題解決につながることを再認識しました。

小さな事項であっても、市長に耳を傾けていただいた。

一つ一つの意見が古賀地区を思う気持ちにあふれていて、それに市長が真摯に回答してくださり、とても貴重な時間でした。

